

近畿地方整備局淀川ダム統合管理事務所
資料配布

配布日時	平成26年11月12日 14時
------	--------------------

件名	<b>天ヶ瀬ダム竣工50周年記念式典の開催のお知らせ</b> ～天ヶ瀬ダムは誕生から半世紀を迎えました～
----	---

概要	<ul style="list-style-type: none"><li>◆天ヶ瀬ダムは、淀川水系で最初に建設された多目的ダムです。</li><li>◆昭和34年に「洪水を防ぐ」・「電気をつくる」・「飲み水を供給する」3つの目的で建設に着手し、昭和39年11月に竣工しました。</li><li>◆本年11月に天ヶ瀬ダムは、竣工50周年を迎えます。これを記念して、「天ヶ瀬ダム竣工50周年記念式典」を開催いたします。</li><li>◆式典では、「天ヶ瀬ダム写真コンテスト」の表彰式や、京都大学名誉教授 中川博次氏による学術講演会なども併せて実施いたします。</li><li>◆日時:平成26年11月19日(水) 13時から16時(予定) 受付開始 12時30分</li><li>◆場所:京都府宇治市折居台1丁目1番地 宇治市文化センター小ホール TEL 0774-39-9333</li></ul> <p>※ご来場の際は、駐車場の収容台数に限りがありますので、なるべく電車・バスなどの公共交通機関でお越しください。 ※当日、記者及びカメラマンの方は、受付をして頂きますと共に、自社の腕章を着用していただきますようお願い申し上げます。</p>
----	---

取り扱い	_____
------	-------

配布場所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 京都府政記者室 宇治日刊記者クラブ 宇治日刊地方記者クラブ 滋賀県政記者クラブ 大津市政記者クラブ
------	--

問い合わせ先	国土交通省 近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所 副 所 長 <small>しんかわ りょうじ</small> 新川 良治 管 理 課 長 <small>もちほら やすお</small> 餅原 保夫 TEL 072-856-3131
--------	--

# 「天ヶ瀬ダム竣工50周年記念式典」概要

## 1. 目的

天ヶ瀬ダムは、洪水調節、水道用水及び発電を目的とした多目的ダムとして、昭和34年に建設に着工し、昭和39年11月に竣工しました。平成26年11月に50年を迎えます。

天ヶ瀬ダムは、昨年の台風18号出水を始めとする多くの洪水に対して洪水調節を行うとともに、水道用水・発電に必要な水量を確保し、流域住民の安全・安心や京阪神の発展に寄与してきました。さらに、洪水調節、水道用水及び発電の能力を増大させるため「天ヶ瀬ダム再開発事業」を実施中です。

淀川ダム統合管理事務所では、竣工から50年という節目の年を迎え、これまで天ヶ瀬ダムが担ってきた役割を振り返り、ダム管理にご尽力、ご協力頂いた関係各位に感謝の意を表すとともに、淀川流域住民の安全・安心及び地域の発展のために一層のご支援、ご協力を頂くため、記念式典を開催するものです。

## 2. 日時

平成26年11月19日(水) 13時から16時(予定) 受付開始 12時30分

## 3. 場所

京都府宇治市折居台1丁目1番地 宇治市文化センター 小ホール

## 4. 主催

国土交通省 近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所

## 5. 出席予定者(予定)

国会議員、府県会議員(滋賀県、京都府)、市町会議員(大津市、宇治市、宇治田原町)、行政関係(滋賀県知事、京都府知事、大阪府知事、大津市長、宇治市長、宇治田原町長)、地元自治会(石山外畑町、大石学区自治連合会、志津川区、金井戸地区等)、地元中学校、地元NPO等

## 6. 式典スケジュール

### 開 会

- ①開会挨拶
- ②来賓祝辞
- ③来賓紹介・祝電披露
- ④天ヶ瀬ダム50年の概要説明
- ⑤天ヶ瀬ダムへの思い(地元自治会長・地元中学生)
- ⑥天ヶ瀬ダム写真コンクール表彰式
- ⑦学術講演会 「天ヶ瀬ダム物語」京都大学名誉教授 中川 博次氏
- ⑧映画上映会 「ダムがなかった風景、ダムができる風景」  
宇治市立歴史資料館館長 坂本 博司氏

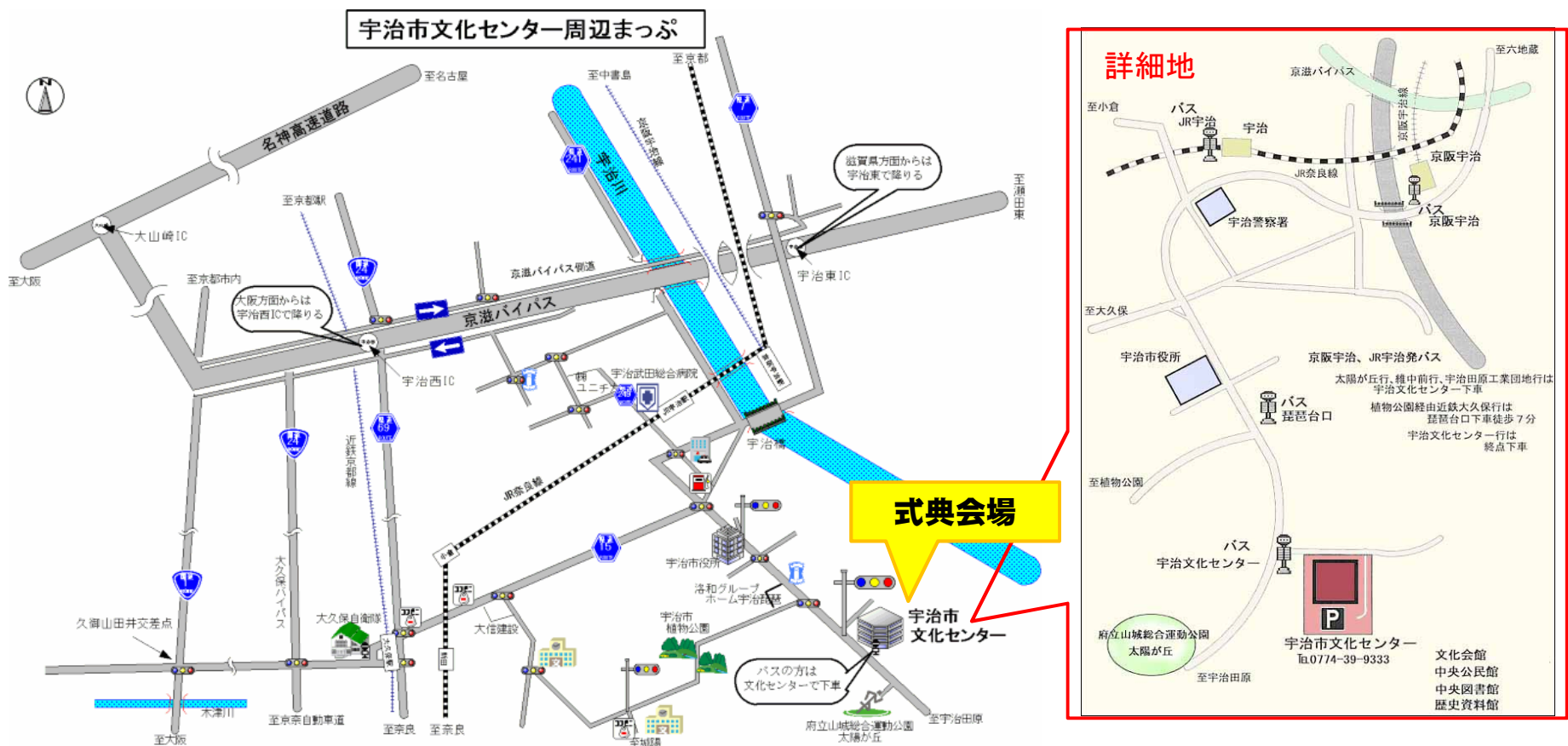
### 閉 会

## 7. 取材について

取材される報道関係者は、以下の事項に十分留意して頂き、行事の円滑な遂行にご協力下さいますようお願い申し上げます。

- ・当日、記者及びカメラマンの方は、受付をして頂きますと共に、自社の腕章を着用していただきますようお願い申し上げます。

# 天ヶ瀬ダム竣工50周年記念式典会場位置図



※地図提供 宇治市文化センター

京阪「宇治駅」から バス9分 バス停「宇治文化センター」下車  
 JR「宇治駅」から バス7分 バス停「宇治文化センター」下車  
 近鉄「大久保駅」から バス25分 バス停「琵琶台口」下車 徒歩10分

ご来場の際は、駐車場の収容台数に限りがありますので、なるべく電車・バスなどの公共交通機関でお越しください。

## 参考資料

# 天ヶ瀬ダムの概要

天ヶ瀬ダムは淀川水系の宇治川に位置します。上流は瀬田川と呼ばれ、琵琶湖から流出する唯一の河川です。昭和28年に台風13号が襲来し、淀川に未曾有の大洪水をもたらしたことをきっかけに、天ヶ瀬ダムが建設されました。昭和39年度にダムが完成して以来50年間、淀川本川の水の流れを調節する役割を担っています。

天ヶ瀬ダムは、昨年の台風18号出水を始めとする多くの洪水に対して洪水調節を行うとともに、水道用水・発電に必要な水量を確保し、流域住民の安全・安心や京阪神の発展に寄与してきました。



天ヶ瀬ダム建設前の  
主な洪水被害状況

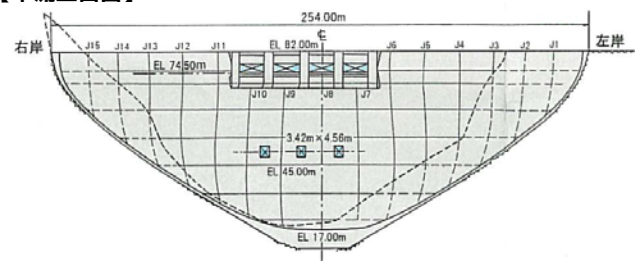
被災年	被災原因	被災人口	被災戸数
明治18年	台風	276,049	71,249
大正6年	台風	65,000	15,358
昭和28年	台風	1,059,826	187,634

天ヶ瀬ダムは、昨年の台風18号出水を始めとする多くの洪水に対して洪水調節を行うとともに、流域住民の安全・安心に寄与してきました。

## 構造

形式	ドーム型アーチ式 コンクリートダム	目的	洪水調節 水道 発電
頂高	73m	総貯水容量	2,628(万m <sup>3</sup> )
堤頂長	254m	有効貯水容量	2,000(万m <sup>3</sup> )
体積	(ダム本体) 121,500m <sup>3</sup>	洪水調節容量	2,000(万m <sup>3</sup> )
	(副ダム水たき) 42,500m <sup>3</sup>		
集水面積	4,200km <sup>2</sup>	利水容量	発電: 1,348(万m <sup>3</sup> )
湛水面積	1.88km <sup>2</sup>		水道: 60(万m <sup>3</sup> )
洪水調節	計画流入量	1,360m <sup>3</sup> /s	
	計画調節量	520m <sup>3</sup> /s	
発電	最大出力	92,000kW(天ヶ瀬発電所)	
		466,000kW(喜撰山発電所)	
上水道	取水量	0.3m <sup>3</sup> /s (暫定豊水水利権含め 最大0.9m <sup>3</sup> /s)	
放流設備	超過洪水用ゲート (クレストゲート)	巾10.0m×高4.357m×4門	
	主ゲート (コンジットゲート)	巾3.42m×4.56m×3門	
	予備ゲート (コースターゲート)	巾5.13m×高7.395m×3門	

【下流正面図】



【縦断面図】

